鹿児島神宮本殿及び拝殿、勅使殿、摂社四所神社本殿

1 所在地

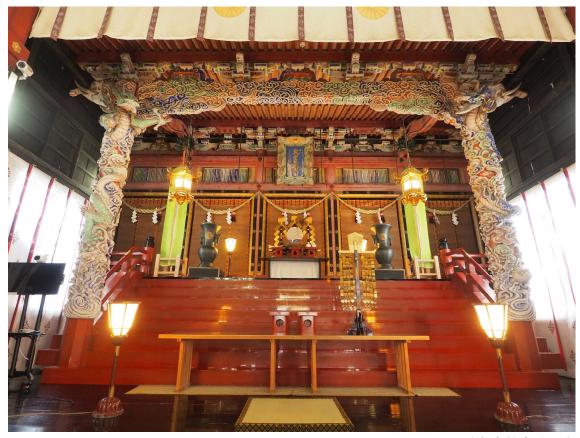
鹿児島県霧島市隼人町内2496

2 指定年月日

令和4年2月9日

3 特徴

鹿児島県の中央部,鹿児島湾に流れこむ天降川を望む丘陵上に立地する。 社伝によると和銅元年(708)の創始で,延喜式には鹿児島神社として記載される。平安時代に八幡神が勧請され,八幡正宮等と称し,大隅国一宮として保護された。現在の社殿は島津重年の寄進により,宝暦6年(1756)に造替されたものである。勅使殿から南北軸に沿って北に拝殿,本殿がならぶ。各建物とも豊かな装飾をもち,とくに本殿は規模が極めて大きく,全体を彫刻や絵画で装飾し,極彩色,漆塗などで仕上げるなど,神社本殿として優れた価値をもつ。向拝の龍の彫刻が巻き付く龍柱など,地方色が認められる点も注目される。



提供:霧島市教育委員会